

## 令和2年度版 改善計画

学校名：巨摩高等学校（定時制）

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	① R2年度に実施する内容 ② R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	職員会議が、全ての会議を兼ねているため、時間がかかることがある。	会議運営の効率化ができています。	①平素から事前説明や、情報の共有・共通理解を図る。 ②協議事項に関する意見をあらかじめ出してもらった上で会議に臨む。	
2	学校行事の負担軽減	少人数の教職員集団のため、一人の教員にかかる負担が大きい。	全教員の協働体制が確立されている。	①組織的に取り組み特定の個人に負担がかからないよう協力体制を整える。 ②生徒の自主性・主体性を伸ばし、運営の協力者として育成する。	
3	校内組織の見直し	業務の運営は、効率的・効果的に行われているとはいえない部分がある。	業務の効率化ができています。	①各主任が他の分掌の副主任になることで、複数体制で業務に当たる。 ②相互に協働できる、組織体制を構築する。	
4	業務の効率化	勤務時間の範囲で、消化できない業務もある。	勤務時間内に業務が終了できている。	①各行事直後に改善点の検討をして、次年度の効率化を図る。 ②業務引継ぎ資料を作成・整備し、後任の負担軽減につなげる。	
5	部活動の負担軽減	部活動なし。	①なし。	なし。	
6	地域人材の活用	「総合的な学習（探究）の時間」に、地域の指導者に伝統工芸作品作りの協力を依頼している。	地域人材の活用方法を工夫して、生徒が意欲的に取り組める環境が整っている。	①紙細工（切子）・伝統凧など、地域を知る体験活動の講師を依頼する。 ②地域人材の発掘に努める。	
7	（学校独自の項目）				
8	（学校独自の項目）				

今年度、巨摩高等学校（定時制）では、この計画に基づいて多忙化改善に取り組んでまいります。